

高山祭 (春の高山祭：毎年4月14日・15日／秋の高山祭：毎年10月9日・10日)

高山祭とは春の高山祭(山王祭)と秋の高山祭(八幡祭)の総称で、16世紀後半から17世紀に始まったとされます。京都市の祇園祭や秩父市の秩父夜祭と並んで日本三大曳山祭や日本三大美祭のひとつに数えられるほか、祭行事は国の重要無形民俗文化財に、祭屋台は国の重要有形民俗文化財に指定されています。この両方に指定されているものは全国で5例のみです(他の4件は、京都祇園祭／秩父夜祭／日立風流物／高岡御車山祭)。また、平成28年12月1日には、高山祭の屋台行事を含む全国の「山・鉦・屋台行事」33件がユネスコの無形文化遺産に登録されました。

高山祭屋台 (屋台名・特徴)

動く陽明門とも称される豪華絢爛な祭屋台は、春祭には12台、秋祭には11台が登場します。各屋台はそれぞれ意匠を凝らし、彫刻、金具、漆工、織物、巧みな人形の動きを披露する「からくり」など、飛騨の匠の技が随所に見られます。



主催：ユネスコ無形文化遺産登録記念「高山祭屋台の総曳き揃え」実行委員会
 事務局：高山市文化財課文化財係 電話 0577-35-3156
<http://kankou.city.takayama.lg.jp/index.html>

案内本部 電話 0577-35-2133 (4/29・30のみ)

高山祭屋台の

The Special Exhibition of Takayama Festival Floats

総曳き揃え

2017.4.29(土祝)・30(日)
 春秋屋台が勢揃い

高山祭屋台の曳き揃え
 からくり実演
 夜の屋台曳き廻し
 春秋獅子舞・闘鶏楽の競演等

高山祭の屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、春の高山祭屋台12台と秋の高山祭屋台11台の合計23台が同じ場所に曳き揃えられる、55年ぶりの一大イベントです。This Exhibition is the biggest event in the last 55 years because a total of 23 ornate floats will be pulled to the same place, including 12 floats from the Takayama Spring Festival and 11 floats from the Takayama Autumn Festival, lined up all together in commemoration of the float events having been registered into UNESCO's Intangible Cultural Heritage of Humanity.



飛騨高山
 HIDA-TAKAYAMA

